

国際環境経済学科		准教授	大床 太郎	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生室内実験指導	2008年11月14日	筑波大学第三学群社会工学専攻学生のWTP実験指導	
2	『環境評価の経済学』担当非常勤講師	2010年10月1日～ 2011年3月31日	講義内容をパワーポイントファイルにしたのちに、Web上で公開した(平成24年4月5日現在サイト閉鎖)。	
3	『外書演習』担当非常勤講師	2011年4月1日～2011年5 月31日	学生を3人ずつのグループに分けて1章を担当させ、全員の前で報告させた後に、参加者全員でディスカッションした。	
4	『標本調査論a/b』	2012年4月1日～現在に 至る	学内サーバに全講義資料をアップロード。学生用作業フォルダを作成し、グループワークをとりいれつつ、実際に学生自身がとってきたアンケートデータを解析させている。	
5	『経営数学a/b』	2012年4月1日～現在に 至る	講義の2/3を板書形式。残りの時間を学生自身が演習問題を解く時間とし、説明したところを即座に演習問題解答で実践させている。	
6	『経営外国語a/b』	2012年4月1日～現在に 至る	3名程度のグループに分け、EU圏におけるCSR関連書籍の各章を担当させ、報告させている。	
7	『クラスセミナー』	2012年4月1日～現在に 至る	イントロダクションの段階から5名程度のグループに分けることで、入学したばかりの学生同士が近くディスカッション・共同作業できる雰囲気作りを行っている。	
8	『演習Ia, b/演習IIa, b/演習IIIa, b』	2012年4月1日～現在に 至る	5名程度のグループに分け、アンケート調査の企画・実査・集計・解析・報告を行っている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『環境評価の経済学』パワーポイント ファイル	2010年10月	栗山浩一、馬奈木俊介(2008)『環境経済学をつかむ』、有斐閣を使用した。 著者本人の了解のもと、パワーポイントファイルを作成した。	
2	『標本調査論a/b』講義資料	2013年4月	パワーポイントファイルの他、ブレインストーミング議事録・調査票・コードブック・ローデータ・プレゼンテーションの各種テンプレート、因子分析等のRスクリプトファイルを整備した。	
3	『クラスセミナー』各種テンプレート	2013年4月	ブレインストーミング・レポート・パワーポイントの各種テンプレートを整備した。	
4	『演習I/II』各種テンプレート	2013年4月	パワーポイントファイルの他、ブレインストーミング議事録・調査票・コードブック・ローデータ・プレゼンテーションの各種テンプレート、因子分析等のRスクリプトファイルを整備した。	

国際環境経済学科	准教授	大床 太郎	大学院の授業担当 無
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			
1	学生室内実験指導	2009年3月31日	指導学生の一人の報告スライドがウェブ上にアップロードされ、謝辞欄に記載される (http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~naoki50/wtp.pdf) .
2	“Biodiversity and Ecosystem”と題したセミナー	2008年12月1日	当時筑波大学所属の吉田謙太郎氏の依頼のもと、生物多様性と生態系、そして経済学の関わりを留学生向けに講義。
3	Google Drive/Gmailによるゼミ運営	2013年4月1日	ohdokoseminor@gmail.comのアカウントを取得し、ゼミ生(クラスセミナー・基礎演習・演習I/II)用に、Google Drive上に作業フォルダを用意、PC/クラウドコンピューティングを利用した教育活動を実践中。
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日		活動内容	
2006年4月～現在に至る		環境経済・政策学会会員	
その他			
科学研究費助成事業: 科学研究費補助金若手B 課題番号23730238「企業が取り組む地域福祉支援の総合的インセンティブ設計」研究代表者(2011年4月1日～2014年3月31日)			
資格: 専門社会調査士(2013年10月1日～)			